

ダイワ米国厳選 バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

運用報告書(全体版) 第10期

(決算日 2024年11月28日)
(作成対象期間 2023年11月29日～2024年11月28日)

■信託期間終了日を2025年11月28日から2030年11月28日に変更する
予定です。(変更実施日：2025年2月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2015年3月6日～2025年11月28日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要 投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザー ファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株 マザーファンド	米国の金融商品取引所上 場株式および店頭登録株 式(上場予定および店頭 登録予定を含みます。ま た、DR(預託証券)を 含みます。)	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率		無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買 益(評価益を含みます。)等とし、原則とし て、信託財産の成長に資することを目的に、配 当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して 分配金額を決定します。ただし、配当等収益が 少額の場合には、分配を行なわないことがあり ます。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安
と判断される銘柄を厳選して集中投資するこ
とにより、信託財産の成長をめざしておりま
す。当作成期につきましてもそれに沿った運
用を行ないました。ここに、運用状況をご報
告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6 期末（2020年11月30日）	13, 824	0	11. 8	16, 249	11. 0	95. 5	—	406
7 期末（2021年11月29日）	18, 267	0	32. 1	22, 697	39. 7	90. 7	—	783
8 期末（2022年11月28日）	19, 385	0	6. 1	24, 590	8. 3	94. 4	—	373
9 期末（2023年11月28日）	23, 601	0	21. 7	29, 946	21. 8	96. 1	—	932
10期末（2024年11月28日）	32, 131	0	36. 1	40, 844	36. 4	92. 9	—	609

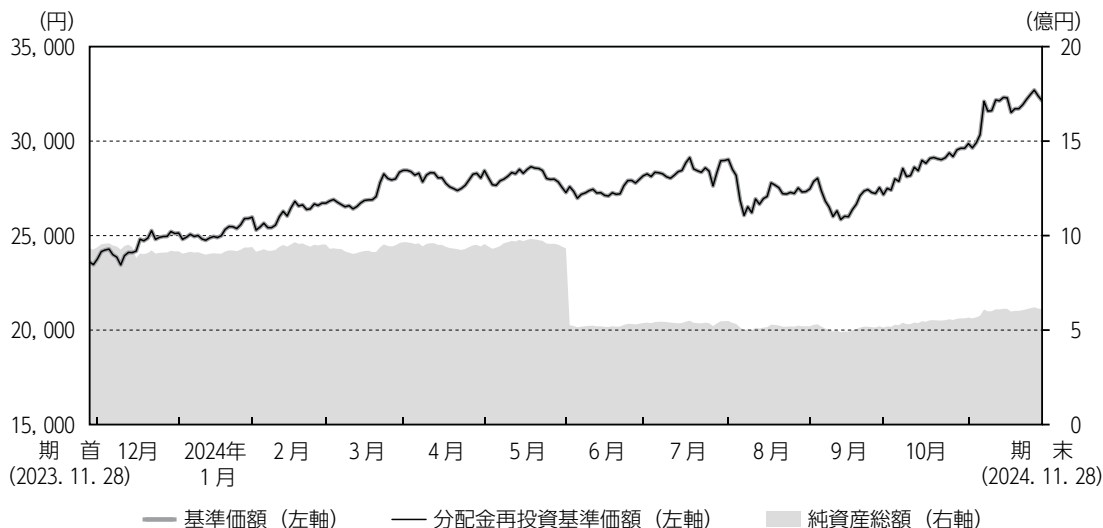
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10, 000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：23,601円

期末：32,131円（分配金0円）

騰落率：36.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2023年11月28日	円	%		%	%	%
	23,601	—	29,946	—	96.1	—
11月末	23,763	0.7	29,733	△ 0.7	95.9	—
12月末	25,136	6.5	30,170	0.7	94.8	—
2024年 1 月末	25,977	10.1	32,336	8.0	95.6	—
2 月末	26,716	13.2	34,024	13.6	94.9	—
3 月末	28,456	20.6	35,470	18.4	95.9	—
4 月末	28,437	20.5	35,808	19.6	95.2	—
5 月末	27,283	15.6	36,643	22.4	87.6	—
6 月末	28,168	19.4	39,466	31.8	96.5	—
7 月末	29,034	23.0	37,058	23.7	95.7	—
8 月末	27,470	16.4	36,241	21.0	95.5	—
9 月末	27,171	15.1	36,688	22.5	95.7	—
10月末	29,866	26.5	40,036	33.7	96.0	—
(期 末) 2024年11月28日	32,131	36.1	40,844	36.4	92.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 11. 29 ~ 2024. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率の予想以上の低下や製造業の景況感の改善、AI（人工知能）関連企業の良好な決算などが好感され、2024年3月末までほぼ一本調子で上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が再び高まったことなどから上昇に転じ、高成長が期待されるAI関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しつつ、7月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったこともあり、強い地合いのまま当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受け、下落（円高）しました。しかし2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高基調は継続しました。しかし7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9月は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、11月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2023. 11. 29 ~ 2024. 11. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

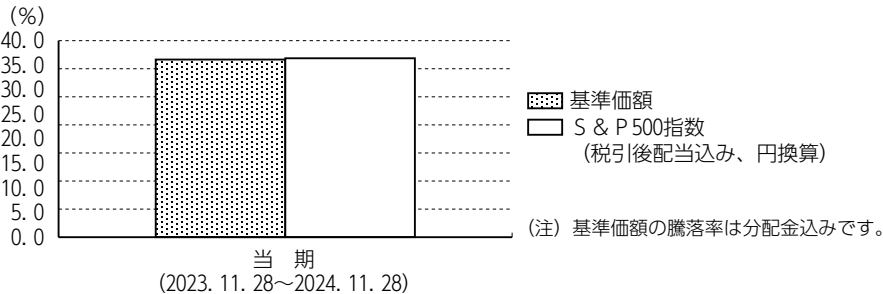
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）やIQVIA HOLDINGS INC（ヘルスケア）などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年11月29日 ～2024年11月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	22,130

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 11. 29～2024. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	402円	1. 463%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 27, 459円です。
(投 信 会 社)	(296)	(1. 078)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(91)	(0. 330)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0. 055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0. 019	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0. 019)	
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	7	0. 025	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0. 020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	414	1. 509	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

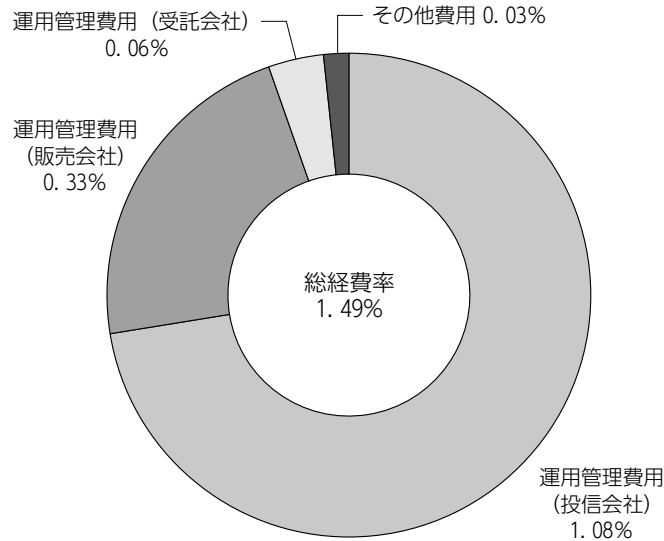
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年11月29日から2024年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	6,095	52,700	72,647	610,260

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年11月29日から2024年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,169,911千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,357,115千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.15

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	126,541	59,989	609,438

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	609,438	99.3
コール・ローン等、その他	4,144	0.7
投資信託財産総額	613,583	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.77円です。
(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,535,027千円)の投資信託財産総額(6,815,781千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	613,583,449円
コール・ローン等	4,144,537
ダイワ米国厳選株マザーファンド (評価額)	609,438,912
(B) 負債	4,069,288
未払信託報酬	4,054,129
その他未払費用	15,159
(C) 純資産総額 (A－B)	609,514,161
元本	189,698,760
次期繰越損益金	419,815,401
(D) 受益権総口数	189,698,760口
1万口当り基準価額 (C／D)	32,131円

- * 期首における元本額は395,001,125円、当作成期間中における追加設定元本額は16,502,160円、同解約元本額は221,804,525円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は32,131円です。

■損益の状況

当期 自2023年11月29日 至2024年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,464円
受取利息	3,066
その他収益金	417
支払利息	△ 19
(B) 有価証券売買損益	167,869,071
売買益	231,213,615
売買損	△ 63,344,544
(C) 信託報酬等	△ 10,897,819
(D) 当期損益金 (A + B + C)	156,974,716
(E) 前期繰越損益金	61,648,097
(F) 追加信託差損益金	201,192,588
(配当等相当額)	(97,848,617)
(売買損益相当額)	(103,343,971)
(G) 合計 (D + E + F)	419,815,401
次期繰越損益金 (G)	419,815,401
追加信託差損益金	201,192,588
(配当等相当額)	(97,848,617)
(売買損益相当額)	(103,343,971)
分配準備積立金	218,622,813

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：4,298,267円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,464円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	156,970,955
(c) 収益調整金	201,192,588
(d) 分配準備積立金	61,648,394
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	419,815,401
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	419,815,401
(h) 受益権総口数	189,698,760口

《お知らせ》

■信託期間の延長について
 信託期間終了日を2025年11月28日から2030年11月28日に変更する予定です。(変更実施日：2025年2月22日)

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第25期 (決算日 2024年11月28日)

(作成対象期間 2024年 5 月29日～2024年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

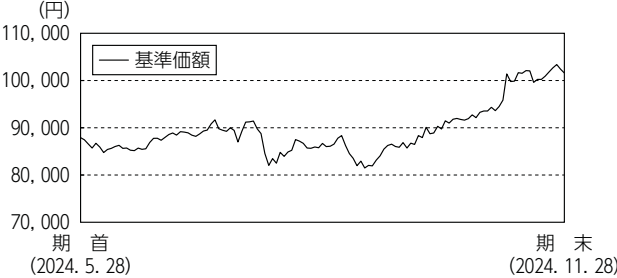
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率 (%)	(参考指数)	騰落率 (%)		
(期 首) 2024年 5 月 28 日	87,914	—	92,248	—	96.5	—
5 月 末	85,708	△ 2.5	90,936	△ 1.4	87.7	—
6 月 末	88,580	0.8	97,942	6.2	96.6	—
7 月 末	91,430	4.0	91,966	△ 0.3	95.9	—
8 月 末	86,544	△ 1.6	89,940	△ 2.5	95.6	—
9 月 末	85,708	△ 2.5	91,047	△ 1.3	95.7	—
10 月 末	94,327	7.3	99,355	7.7	96.0	—
(期 末) 2024年 11 月 28 日	101,591	15.6	101,363	9.9	92.9	—

- (注 1) 騰落率は期首比。
(注 2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：87,914円 期末：101,591円 騰落率：15.6%
【基準価額の主な変動要因】

為替相場で米ドルが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となったものの、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、当作成期首より、利下げ期待の高まりや高成長が期待される AI (人工知能) 関連企業の株価急騰が相場をけん引し、上昇基調となりました。しかし2024年 7 月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに 8 月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆した F R B (米国連邦準備制度理事会) 議長の発言などを

好感して急反発すると、F R B が0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったこともあり、強い地合いのまま当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。
米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。2024年 7 月以降は、日銀が 7 月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9 月は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、11月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強く、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET INC-CL A (コミュニケーション・サービス) や CBRE GROUP INC-A (不動産) などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。引き続き、ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強く、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)
合 計	17

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2024年 5 月29日から2024年11月28日まで)

		買 付		売 付	
外国	アメリカ	株 数	金 額	株 数	金 額
		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		823.77	8,922	776.24	8,431
		()	()		

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2024年 5 月29日から2024年11月28日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
FIRST CITIZENS BCSHS -CL A (アメリカ)	0.992	276,674	278,906	BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	37.575	236,499	6,294
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	3.395	131,975	38,873	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	10.445	189,890	18,179
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	25.91	128,232	4,949	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	3.822	183,782	48,085
PHILLIPS 66 (アメリカ)	5.5	108,589	19,743	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN (アメリカ)	5.48	122,046	22,271
DEERE & CO (アメリカ)	1.71	100,453	58,744	SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	1.54	75,498	49,025
CONOCOPHILLIPS (アメリカ)	5.965	96,899	16,244	PAYCOM SOFTWARE INC (アメリカ)	2.36	75,245	31,883
CENTENE CORP (アメリカ)	9.055	89,584	9,893	FIRST CITIZENS BCSHS -CL A (アメリカ)	0.207	70,809	342,076
LIBERTY BROADBAND-C (アメリカ)	7.485	77,188	10,312	FISERV INC (アメリカ)	2.075	64,758	31,209
IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	2.085	66,894	32,083	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP (アメリカ)	2.24	60,783	27,135
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	4.785	52,801	11,034	AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	1.495	54,992	36,784

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■組入資産明細表
外国株式

銘柄		期 首		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN		184.65	138.45	2,231	338,701	金融
BRUNSWICK CORP		126.6	124.65	1,004	152,517	機械・サービス
CENTENE CORP		165.05	250.3	1,500	227,662	ヘルスケア
DEERE & CO		48.35	61.5	2,865	434,957	資本財・サービス
LITHIA MOTORS INC		40.15	41.45	1,600	242,928	機械・サービス
FIRST CITIZENS BCSHS -CL A		5.11	12.96	2,991	454,063	金融
FISERV INC		75.8	58.55	1,291	196,019	金融
ALPHABET INC-CL A		167.15	175.15	2,964	449,855	コミュニケーション・サービス
PHILLIPS 66		83.35	135.7	1,809	274,636	エネルギー
LIBERTY BROADBAND-C		—	74.85	631	95,855	コミュニケーション・サービス
CONOCOPHILLIPS		156.15	207.55	2,228	338,277	エネルギー
PAYCOM SOFTWARE INC		124.6	108.85	2,557	388,207	資本財・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A		55.05	17.93	698	106,076	コミュニケーション・サービス
CBRE GROUP INC - A		263.5	171.35	2,411	365,927	不動産
SALESFORCE.COM INC		39.05	57.6	1,900	288,493	情報技術
IQVIA HOLDINGS INC		109.05	126.4	2,546	386,417	ヘルスケア
WILLIS TOWERS WATSON PLC		58.7	53.2	1,706	259,067	金融
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES		1,079.6	1,114.35	1,156	175,551	コミュニケーション・サービス
BANK OF AMERICA CORP		375.75	—	—	—	金融
AMERICAN EXPRESS CO		14.95	—	—	—	金融
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP		94.95	98	755	114,733	金融
KEURIG DR PEPPER INC		—	259.1	844	128,116	生活必需品
SCHWAB (CHARLES) CORP		360.35	396.7	3,276	497,311	金融
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP		121.55	112.4	2,150	326,320	金融
ファン ド	株数、金額	3,749.46	3,796.99	41,126	6,241,699	
合 計	銘柄数<比率>	22銘柄	22銘柄		<92.9%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	6,241,699	91.6
コール・ローン等、その他	574,082	8.4
投資信託財産総額	6,815,781	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.77円です。

(注 3) 当期末における外貨建純資産 (6,535,027千円) の投資信託財産総額 (6,815,781千円) に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,899,244,003円
コール・ローン等	568,975,474
株式 (評価額)	6,241,699,426
未収入金	83,462,335
未収配当金	5,106,768
(B) 負債	182,834,912
未払金	182,834,912
(C) 純資産総額 (A－B)	6,716,409,091
元本	661,125,063
次期繰越損益金	6,055,284,028
(D) 受益権総口数	661,125,063口
1万口当り基準価額 (C／D)	101,591円

* 期首における元本額は633,705,853円、当作成期間中における追加設定元本額は130,206,815円、同解約元本額は102,787,605円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり) 66,044,943円
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Bコース (為替ヘッジなし) 535,090,661円
ダイワ米国厳選バリュース株ファンド (ダイワSMA専用) 59,989,459円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は101,591円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 5 月29日 至2024年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	39, 896, 356円
受取配当金	22, 819, 333
受取利息	3, 848, 246
その他収益金	13, 228, 777
(B) 有価証券売買損益	788, 800, 826
売買益	1, 116, 885, 216
売買損	△ 328, 084, 390
(C) その他費用	△ 608, 798
(D) 当期損益金 (A + B + C)	828, 088, 384
(E) 前期繰越損益金	4, 937, 484, 854
(F) 解約差損益金	△ 801, 882, 395
(G) 追加信託差損益金	1, 091, 593, 185
(H) 合計 (D + E + F + G)	6, 055, 284, 028
次期繰越損益金 (H)	6, 055, 284, 028

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。